

# 精華町教育委員会会議 議事録

令和6年（第6回）

1 開 会 令和6年6月25日(火) 午後2時30分  
閉 会 令和6年6月25日(火) 午後3時15分

2 場 所 精華町役場 3階 301会議室

3 出席委員 川村教育長 松下教育長職務代理者 新司委員  
井上委員 高岡委員

4 欠席委員 なし

5 出席事務局職員

松井教育部長 有城総括指導主事  
田原学校教育課長  
川畑学校教育課担当課長(防災食育センター長)  
小笠原生涯学習課長  
上野生涯学習課担当課長(図書館長)  
平井学校教育課課長補佐

6 傍聴者 0名

7 議事の概要

(1) 開会及び冒頭あいさつ

教育長から第6回教育委員会会議の開会を宣言。

(2) 第5回教育委員会会議議事録について

教育部長から令和6年第5回教育委員会会議の議事録について説明。

**【採 決】**

・全員承認

(3) 教育長報告事項

5月29日、京都府市町村教育委員会連合会の令和6年度定期総会・研修

会が開催され、委員の皆さんに出席いただいた。

6月3日から21日までの日程で、精華町議会定例会6月会議が開催され、一般質問の初日に、昨年度に引き続き精華南中学校の生徒が議会を傍聴した。生徒にとっては町の施策が決定していく議会という場を体験的に学ぶことができ、よい取組になったと思う。

6月7日、京都府立山城総合運動公園で、中学校の相楽陸上大会が開催され、本日6月25日、精華町の小学校陸上記録交歓会が同公園で開催された。

この間の主な取組は以上だが、ここで国の動きについて1件、情報提供をしておきたい。

6月21日、政府が経済財政運営と改革の基本方針、いわゆる骨太の方針を閣議決定したので、その教育関係の部分を紹介する。

大きな1点目は、教育DXに関して、GIGAスクール構想の推進としてクラウド環境の整備、生成AIの活用、教育データの収集、分析、利活用を通じ、全ての子どもの個別最適で充実した学びの実現を目指すとされていることである。また、校務のDXも推進し、教員の働きやすさと教育活動の一層の高度化の実現を目指すとされている。

これらは同方針の章立ての構成では、技術革新の社会実装という箇所では述べられている。

大きな2点目は、昨年の方針にも書かれていたことだが、教員の処遇を巡り、質の高い教師の確保、育成に向けて2026年度までは集中期間であると位置づけて、スピード感をもって働き方改革をさらに加速し、また処遇改善、指導運営体制の充実を図り、そして、教師の時間外在校時間等の削減を徹底して進める、ということが述べられている。

昨年との違いとしては、教職の特殊性や人材確保法の趣旨、そして教師不足解消の必要性等に鑑みて、教職調整額の水準を少なくとも10%に引き上げることが必要などとした中央教育審議会の提言を踏まえるという表現があった。

また、新たな職及び級と、学級担任職員の重要性と負担等に応じた新たな手当の創設、管理職手当と各種手当の改善という形での給与体系の改善の検討が謳われている。

このうち、教職調整額10%の件は、昨年の方針では2024年に提出すると書いてあったので実は1年遅れなのだが、2025年の通常国会に給

特法の改正案を提出するとされている。

小学校教科担任制の拡大と、生徒指導担当教師の中学校への配置ということが挙げられているとともに、35人学級等についての小学校における多面的な効果検証等を踏まえつつ、中学校を含めて学校の望ましい教育環境や指導体制を構築していくとされている。中学校で35人学級をやるという表現にはなっておらず、微妙な表現となっているため、今後の足がかりにする意図があるのだろうが、この点については去年からの前進は見られない。

以上のような内容が、政府の政策目標としてひとまずは認知されたという解釈が可能かと思う。

特に教職調整額の10%の件については、委員からも前回ご意見があったが、もはや時間外手当を支給するという方向性はなくなったかのように思われる状況である。しかし、いずれにしても大きな処遇改善であることは間違いないので、私としては期待している。

#### 【委員からのご意見】

松 下 委 員 先日、テレビ番組で教員の働き方に関して取り上げられていた際、子どもの解答用紙を読み取ってコンピュータに採点させている場面が紹介されていた。もちろん教師はその後、どの子がどうだったという判断はしなければならないのだが、採点が自動化されたことによって相当時間が節約できているとのことだった。

先ほど教育長から報告いただいた校務DXに関わる内容だと思うのだが、精華町での取り組み状況はどうか。

川 村 教 育 長 採点ソフトは昨年度から中学校で導入している。先行して導入されていたある学校で評判がよかったことから早速導入し、中学校では使用されていると聞いている。

松 下 委 員 今まで全部手作業でやっていたが、そういった技術はどんどん使っていけば時間も効率化でき、ほかの業務に時間を割くことができるので、よいことだと思う。

教 育 部 長 今、精華町でも様々な分野でDXを推進していくため、DXの対象としてどのような困りごとがあるのかというアンケートをとっている。教育委員会としても意見を出して、

今後担当部署のヒアリングを受ける予定である。

川村教育長 ChatGPTなども、文章をつくったり、調べたりするのが非常に速いので、私も使用する機会が増えてきているのだが、これら生成AIは間違った結果を出力する場合もあるので、使用に際しては注意する必要がある。

松下委員 もう一つ、骨太方針で挙げられた担任手当とは、既存の主任手当の担任版と考えてよいのだろうか。

川村教育長 その点について具体的な話は現時点で掘っていない。

#### (4) 臨時代理の報告について

教育部長 精華町教育委員会基本規則第16条の2第2項の規定により、令和6年6月7日付けで行った教育長の臨時代理について報告させていただく。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、精華町議会定例会6月会議に提出する議案に同意することについて、緊急を要し、かつ教育委員会の会議を招集する時間的余裕がなかったため、教育長が臨時に代理をしたものである。

電子入札により行われた令和6年度精華南中学校第2期便所改修工事請負契約の一般競争入札について、6月4日に執行した改札により落札業者が決定したため、当該業者と請負契約を締結するという議案に対し、教育委員会として同意するという内容である。

本臨時代理を行うに当たり、本来であれば会議を開催して、直接、委員の御意見を伺うべきところ、会議の開催が困難な状況であったため、6月7日付で書面評決を行ったところ、委員全員の賛成を頂戴したところである。

#### 【採 決】

- ・ 全員承認

#### (5) 事務局からの諸報告

教 育 部 長

1 精華町議会定例会 6 月会議について

精華町議会定例会 6 月会議は、6 月 3 日から 21 日までの 19 日間の会期で執り行われた。

まず議案関係では、先月の教育委員会でもお諮りした補正予算関係の 2 件と、本日、先ほど臨時代理の報告をさせていただいた 1 件を含む契約議案 2 件であった。

議案に対する質疑では、まず補正予算関係では、議案第 30 号、令和 5 年度一般会計補正予算（第 10 号）の専決処分の承認を求める議案について、会計年度任用職員の別室登校者指導員や部活動指導員の報酬などの執行残について質疑があったほか、議案第 38 号、令和 6 年度東光小学校第 2 期便所改修工事請負契約の締結議案については、和式便器を 2 カ所残す理由や、児童へのアンケート内容の確認などの質疑があった。

次に、一般質問においては、今回、13 名の議員から質問の通告があり、教育委員会関係では 4 名の議員から質問があった。

内容としては、大阪・関西万博への参加についての考えや、教職員の働き方改革の実態を問うもの、また教職調整額により長時間勤務を強いてきた歴史がある中で、働き方に応じた賃金を支払うべきとの質疑があった。そのほかに、別室登校者対応の効果や課題、児童生徒の健康についての質疑などがあった。

議会最終日には教育長から 1 件、小中学校春季期間中の各種大会の成績等について行政報告が行われた

総括指導主事

1 生徒指導報告について

(1) 小学校

5 月の問題事象はゼロ件。

不登校の児童数は 15 名。

(2) 中学校

5 月の問題事象は 2 件。2 件とも生徒間暴力の事象であっ

た。

不登校の生徒数は54名。

4月と比較して、中学校では不登校が増えている。新年度を迎えて頑張っていた子どもたちが、5月で少し疲れを感じているという状況がうかがえ、3日から6日の欠席をする傾向の生徒が多かったと見ている。

総括指導主事 2 重災害事故報告について

5月の重災害事故の報告は3件で、内容は部活動中のけが、自転車での自損事故、そして交通事故だった。けがについては打撲、切り傷といった症状である。

総括指導主事 3 相楽地方中学校陸上競技大会の結果について

6月7日に行われた相楽地方中学校陸上競技大会では、各種目5位までが上位大会の山城大会に出場となった。男女とも多くの種目で入賞し、男子では20名、リレー3チーム、女子では18名、リレー3チームが山城大会への出場権を得た。

生涯学習課長 1 行事の実施予定等について

1点目、第49回精華寿大学の開講式と1回目の講座「色を生かしてもっと素敵に！もっと自分らしく～1DAY色彩講座～」を7月12日に役場交流ホールで実施する。

2点目、第3回精華町文化財保存活用地域計画作成協議会を7月26日に町立図書館集会室で開催する。

3点目、むくのきセンター夏休み子ども教室が精華町スポーツ協会の主催事業、及び、指定管理者の主催事業として順次実施される予定である。

【委員からのご意見】

井上委員 生徒指導報告に関連して、私が先日夕方に駅周辺で犬の散

歩をしている時に、中学校の制服を着た男女が人目をはばからず抱き合っている場面に出くわした。

これまでも公園の暗がりや男子と女子がそういった状況にある場合などは、人の目があることを気付かせるため声をかけたりもするのだが、地域住民として、そういった場合にどのように注意すればよいか、本当に悩む。

学校の状況がどのようなものかは子どもたちの登下校の様子を見ればよく分かり、昔はタバコを吸いながら歩いている子どももいて、私の母親もそれを見かけたらよく注意をしていたものだが、今、そういった、いわゆる学校生活の乱れのようなものが少し目立つように感じる。

こういったことは学校の問題ではなく家庭教育の問題ではあるものの、今後エスカレートしていくと非常に困るのではないかと思うので、今回発言させてもらった。

総括指導主事 家庭だけでなく、中学校にとっての課題でもあると認識している。性や男女交際についての学習は取り入れてはいるのだが、性に関する意識はネット情報などにとっても誘導されやすく、十分な成果を出せていない状況である。

情報モラルやデジタル・シティズンシップなどの学習において、そういった視点も含めてしっかり指導していくことが必要だと思う。

## (6) 後援関係

5月から6月にかけて受け付けた教育委員会後援事業は、総数12件、すべて生涯学習課の社会教育係の担当のものとなっている。

## (7) 7月の行事予定

町立小中学校の1学期終業式は小・中学校ともに7月19日で、翌日から8月26日まで夏季休業期間に入る。

また、7月13日から15日までの3日間で、相楽地方中学校総合体育大会が開催される予定である。

教育委員の皆さんに参加をお願いするものとしては、7月5日の相楽

地方教育委員会連絡協議会の教育委員・教育長合同研修会、23日の第7回教育委員会会議、そして翌24日の今年度1回目の精華町総合教育会議である。

#### 【委員からのご意見】

松 下 委 員 本日、情報提供として新聞記事を配布させてもらっている。滋賀県大津市の教員を退職された方が、小学校でこのような教員生活を送っていたと回顧されている記事である。

実際に勤務した者でないと分からないような状況もあれば、周りの者が見ていて分かる状況など様々とは思っているのだが、この記事から分かることは、自分自身の生活も含めて、とにかく慌ただしく朝から夜まで仕事をしているというのが実情で、私の実感として、教員の一日のサイクルとして割と一般的な内容が書かれているのではと思っている。

もちろん勤務校による差や、個人差はあるとは思いますが、学校の教員は皆このような状況で毎日動いているということで、とりわけ小学校では担任として朝1時間目に上がったら、子どもたちが帰るまでなかなか職員室に戻ってこないというのがおそらく実情だと思う。

そういった状況で一番困るのが管理職であり、この人と話をしたいのに話す時間がないという、私自身も小学校で3年間教頭を務めた際に本当に困ったことを思い出した。

働き方改革が進む中で少しずつ改善されてきているとは思っているのだが、参考になればと思い紹介させてもらった。

また、この間、充て職で務めている役員等のことを含めて各所に参加したので、簡単に報告させてもらう。

まず、6月6日、町の青少年健全育成協議会の総会があった。私はこの協議会の役と、人権啓発推進委員会の会長を務めているが、この組織には各小中学校のPTAが委員として入っており、この間のPTAを取り巻く状況があったので心配していたのだが、8校中、7校で委員の方が決まっていたので、ひとまず安堵したところである。

6月23日、「山城の未来っ子みんなでHUGフォーラム」がアスパやましろで開催され、山城教育局の主管事業だが、私が会長を務める山城地方の教育委員会連絡協議会が後援をしている関係で出席依頼があり、久しぶりに覗いてきた。

山城教育局管内の市町村から保護者の方々が来られていたが、一般社団法人教育デザインラボの石田勝紀さんという方を講師に、「自己肯定感を生み出す10の魔法の言葉」などを教えてくださった。

中でも私がこれだと思ったのが、「デジタルをアナログで中和する」という言葉である。

どういう意味だろうと聞いてみると、デジタルなことばかりをやっていると、人としての何かを無くしてしまうのではないかという危惧についての言葉であった。「中和」のため、石田さんが経営する塾では、農園で畑仕事をして野菜をつくるというアナログなことを取り入れながら子どもたちに教育をされているとのことだった。

会場の雰囲気は和やかで、保護者の方々が今一番知りたいことであると思われる、目の前の子どもにどう声をかければよいかということ、よく理解できた会議だった。

6月27日、地域で子どもを育てる連絡協議会が開催される。

7月1日、教育委員が委員を務める町の人権啓発推進委員会の総会と講演会がある。今年は牛馬の屠殺と同和問題について講師を招き話をしていただくので、時間が許せば参加いただきたい。

最後に、以前この会議で、精華町の文化財には案内板が設置されていないという話をしたが、改めて山田地区の新殿神社に行ったところ、精華町教育委員会名で案内板が設置され、しっかり説明されていたので、改めてここでお礼を言っておきたい。

川村教育長 松下委員に紹介いただいた退職教員の投稿だが、毎朝5時半に起きて、用事をいろいろ済ませてから、8時15分から

朝学習ということで、一体この人は何時に学校に出勤したのかなという疑問が生じた。気がつけば夜8時近くで、帰宅後も仕事をしていたとあり、これが教員の生活スタイルの標準に近く、このような状況が教員の職務の特殊性と言われるものだとなれば、これに対して教職調整額を10%にすることで報いようというのが、今の動きだと言える。

松 下 委 員　私がこの間思っていたのは、基本給があまり上がっていないのが一番大きな問題ではないかということである。

最近、20代の若い教員と話をする機会があり、何が一番困っているかと質問してみたのだが、生活費、お金の問題が一番厳しいという答えが多かったので、ベースをどうするかという問題が大きいのではないかと感じた。

川 村 教 育 長　教員の給与は、人材確保法で行政職よりも高い設定になっている。そこに義務教育特別手当や教職調整額、主任になれば主任手当、複式学級の担当手当、支援学級の担当手当などがつく。今回、担任手当を新設するということだが、教職は他の職とのバランスがあるので、諸手当で評価していく手法を採っているのだと考えている。

今回は更に、主幹教諭と教諭の間に主任教諭を設けたうえで、今の5級制を6級制にするという形での処遇改善を文部科学省は目指しているのではないかと推測する。

## (8) 閉会

教育長が第6回教育委員会会議の閉会を宣言。